

記 者 発 表 (発 表 ・ 資 料 配 布)				
月／日 (曜日)	事 務 所 等 名	電 話	発 表 者 (担当者)	配布先
7/17 (木)	県立農林水産技術総合センター (病虫害防除所)	0790-47-1222	病虫害防除所長 (望月 証)	県庁記者クラブ 北播磨県民局

令和 7 年度病虫害発生予察注意報 第 1 号
「斑点米カメムシ類の発生状況と防除対策」について

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）が実施した巡回調査や予察灯調査において、平年を大幅に上回る斑点米カメムシ類の発生が確認されています。今後の気温は平年より高く推移すると予想され、水稻への加害が懸念されます。水田での発生状況に十分注意し、出穂状況に合わせた防除対策を徹底するよう、関係機関からの指導を促すため、「病虫害発生予察注意報第 1 号」を発表します。

記

- 1 対象作物 水稻
- 2 病虫害名 斑点米カメムシ類（イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、カスミカメムシ類）
- 3 発生地域 県内全域
- 4 内容 詳細は別紙「令和 7 年度病虫害発生予察注意報 第 1 号」のとおり

兵庫県立農林水産技術総合センター（病虫害防除所）は、農作物を加害する病虫害の発生状況を調査するとともに、その後の発生を予測し、普及指導員や JA の営農指導員等に「予察情報」として提供しています。また、農業生産現場から持ち込まれた病虫害の診断も行っています。

農 技 第 1481 号
令和 7 年 7 月 17 日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 7 年度病害虫発生予察注意報 第 1 号を発表します。

巡回調査や予察灯調査において、斑点米カメムシ類の多発生が確認されています。水田や畦畔での発生状況に十分注意し、防除対策を徹底するようご指導願います。

令和 7 年度病害虫発生予察注意報 第 1 号
斑点米カメムシ類の発生状況と防除対策について

- | | |
|-------------------|--|
| 1 対象作物 | 水稻 |
| 2 病害虫名 | 斑点米カメムシ類（イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、カスミカメムシ類） |
| 3 発生地域 | 県内全域 |
| 4 発生程度 | 多い |
| 5 発生時期 | 7 月中旬～9 月下旬 |
| 6 発生状況について | |

- （1）7 月上旬に実施した水稻巡回調査（23 地点）において、すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生地点率が 56.5%と、昨年の同時期（地点率 22.7%）と比較して高く、県内で広く発生が確認されている（写真 1、2）。
- （2）予察灯（設置場所：朝来市、加西市、南あわじ市）では、斑点米カメムシ類の誘殺がみられ、地域によっては平年を大きく上回っている（表、図 1、2）。
- （3）6 月下旬から、県内各地の水田で出穂の有無にかかわらずイネカメムシの発生が確認されている。

7 今後の発生予想について

- （1）気象予報によると、今後 1 か月の気温は高く推移すると予想されており、出穂期以降の水田では、斑点米カメムシ類の加害（写真 3）及び繁殖に好適な条件になると考えられる。
※出穂期：全穂の 40～50%が出穂した日（出穂とは小穂が葉鞘から現われること）。
- （2）イネカメムシは出穂期の稲穂に強い選好性があるため、多くは出穂に合わせて水

田に侵入する。地域内の出穂が早い水田で本種が多発している場合は、今後、隣接する出穂が遅い水田でも本種が多発し、穂を加害する可能性が高いと考えられる。

8 防除上の留意点

- (1) 畦畔や休耕田のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類を誘引し、増殖源となるため、適切な除草管理を行う。なお、出穂直前に畦畔の管理作業を行うと本種を本田内に追い込むことになるため、出穂の2週間以上前に雑草管理を行う。また、水田内のヒエ等の雑草についても本種の誘引源となるため、速やかに除去する。
- (2) 斑点米カメムシ類の薬剤防除は、穂揃い期から乳熟期にかけて行い、その後も発生が多い場合は7～10日間隔で1～2回の追加防除を行う。なお、粒剤を施用する場合は、防除効果が得られるまでに日数がかかることを考慮する。
- (3) イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させる（写真4、5）など収量への影響が大きいいため、出穂期に水田内で発生が見られる場合は薬剤防除を検討する。本種の防除は、出穂期とその7～10日後の2回防除が不稔と斑点米の被害抑制に効果的である。
- (4) イネカメムシは、周辺より出穂が早い、または遅い水田に集中して加害しやすい。また、本種は夜行性で、数日のうちに水田へ大量に侵入することがあるため、発生状況に十分注意し適期防除に努める。
- (5) ミナミアオカメムシは広食性であるため、水田だけでなく、周辺のダイズや野菜類圃場にも発生し吸汁被害を及ぼすことがあるため、発生状況を把握し防除を行う。
- (6) 薬剤散布を行う場合は、農作物病虫害・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。



写真1 近年発生が多い大型斑点米カメムシ類（各写真の右下は幼虫）



写真2 カスミカメムシ類



写真3 斑点米カメムシ類による斑点米被害

(左) イネカメムシによる斑点米被害。籾の基部を加害することが特徴。

(右) イネカメムシ以外の斑点米カメムシ類による斑点米被害。



写真4 出穂期のイネに多発するイネカメムシ



写真5 イネカメムシによる不稔被害(青立ち)

表 予察灯における斑点米カメムシ類の誘殺状況

地点	虫種				
	イネカメムシ	クモヘリ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	アカスジ カスミカメ	アカヒゲ ホソミドリ カスミカメ
朝来市	++	±	±	+	+
加西市	++	++	++	++	+
南あわじ市	±	±	++	+	++

±：平年並、+：やや多い、++：最多（いずれも過去10年の値との比較）

※調査期間：朝来市（2025. 6. 1～7. 5）、加西市及び南あわじ市（2025. 6. 1～7. 10）

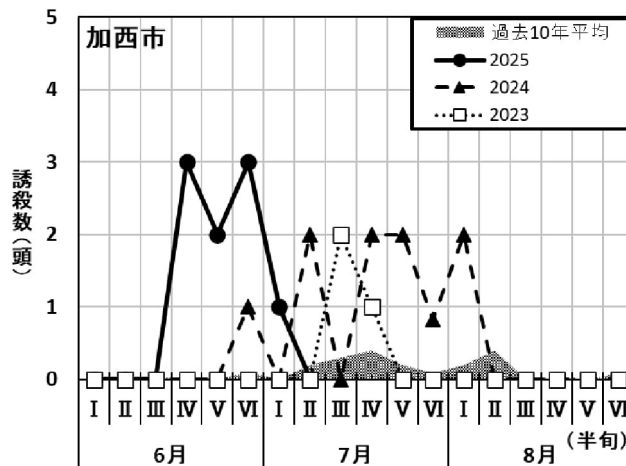


図1 予察灯におけるクモヘリカメムシ誘殺数

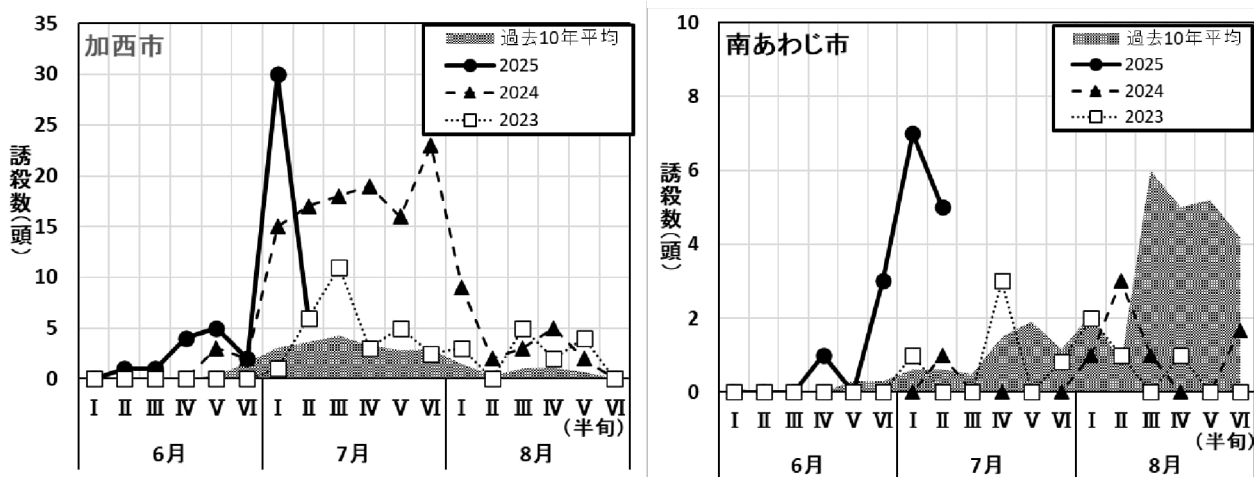


図2 予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数

*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。

発生予察情報など病害虫に関する情報を速やかに提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント (https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

